

藤沢市子ども読書活動推進計画の改定について（中間報告）

1 趣旨

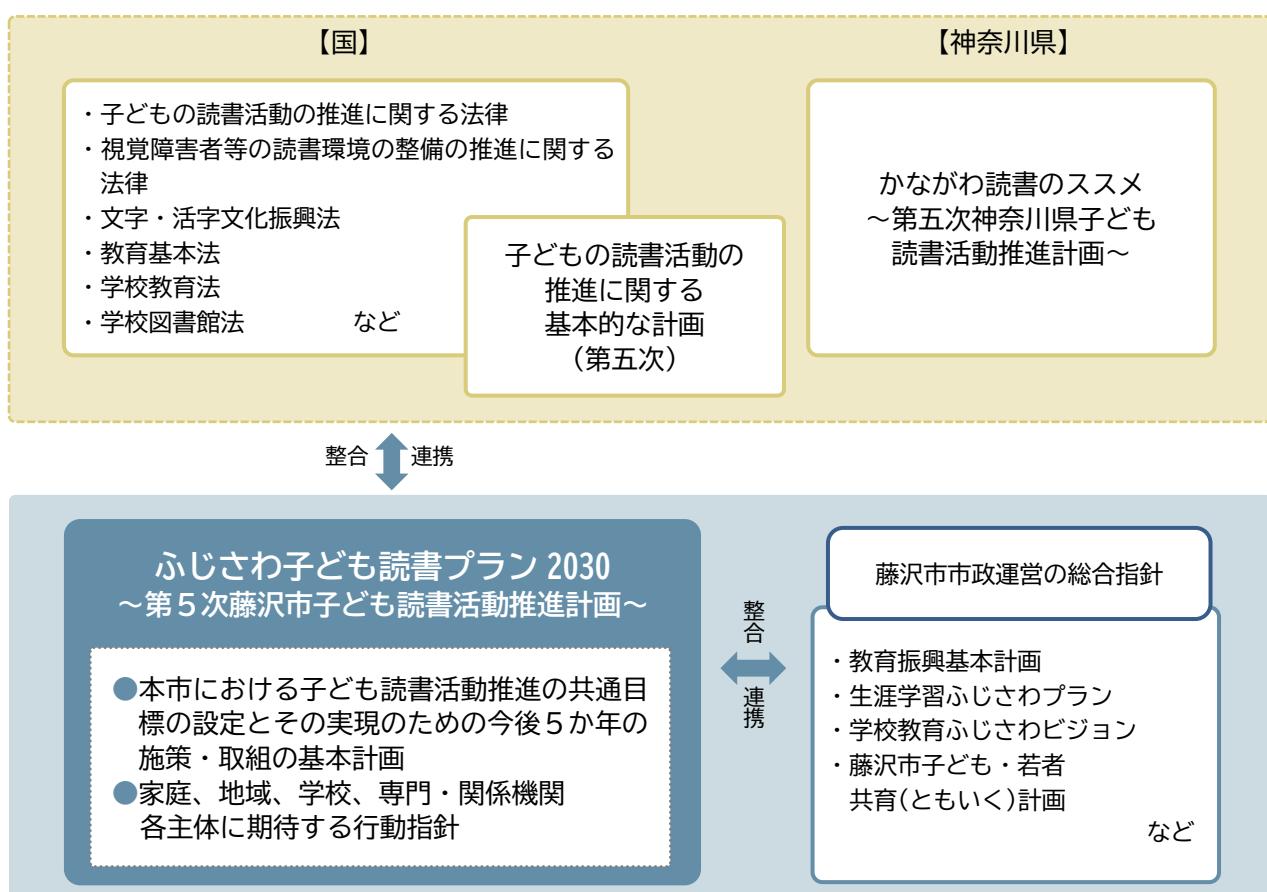
本市では、すべての子どもたちが本に出会い、言葉にふれ、本に親しめる環境をより豊かに整えるため、平成18年3月に「藤沢市子ども読書活動推進計画」を策定し、以降、計画の見直しや更新を重ねながら、様々な取組を進めてきました。

現行計画（第4次計画）は今年度で終了することから、現状や課題を踏まえ、これまでの取組の評価・見直しを行い、新たに「第5次藤沢市子ども読書活動推進計画」（以下「第5次計画」という）を策定するものです。

2 計画の位置づけと期間

第5次計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条第2項に基づく市町村子ども読書活動推進計画として位置づけ、国の「第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」、県の「第五次神奈川県子ども読書活動推進計画」及び本市の「藤沢市教育振興基本計画」等、他の計画とも整合性を図り、さらにSDGsの理念を踏まえて策定します。

また、第5次計画の期間は、令和8年度から令和12年度までの5年間とします。



3 改定経過

- 令和6年 9月 第1回藤沢市子ども読書活動推進計画策定委員会
12月 藤沢市子ども読書活動推進計画改定にかかるアンケート調査実施
- 令和7年 2月 第2回藤沢市子ども読書活動推進計画策定委員会
6月 第3回藤沢市子ども読書活動推進計画策定委員会
8月 第4回藤沢市子ども読書活動推進計画策定委員会
9月 藤沢市子ども読書活動推進計画改定にかかるアンケート調査追加実施
10月 第5回藤沢市子ども読書活動推進計画策定委員会

4 計画改定のポイント

(1) アンケート調査等から見えてきた新たな視点

計画を改定するにあたり、子どもの読書活動に関する市民の様々な意識やニーズを調査・把握することを目的とし、幼児の保護者、小学2年生、小学5年生、中学2年生、16～17歳、及びその保護者に対して、アンケート調査を行いました。このアンケート調査結果の分析から子どもに係る現在の状況を把握するとともに、国・県等の動向に鑑みながら子どもの読書活動の現状について検討し、見えてきた課題を踏まえ、次の3つを新たな視点と捉えて施策を展開していきます。

- ア 読書への関心を高める工夫
- イ デジタル社会の急速な変化への対応
- ウ すべての子どもたちの読書機会の確保

(2) 事業の見直しと再構築

これまでの計画では、「家庭」「学校」「地域」を中心に取組を進めてきました。今回の改定では、県の第五次計画においても取り上げられている「専門・関係機関」を加え、現行計画での93の事業について内容を整理し、14の取組として再構築しました。これにより、それぞれの役割をより明確にし、連携を深め、子どもが本に親しむ機会を広げる基盤を強化することで計画全体の実効性を高め、子どもの読書環境の推進を図ります。

5 第5次藤沢市子ども読書活動推進計画（素案）

資料2 参照

6 今後のスケジュール

- 令和7年12月 藤沢市議会定例会にて素案を報告
パブリックコメントの実施（12月10日～令和8年1月10日）
- 令和8年 1月 第6回藤沢市子ども読書活動推進計画策定委員会にて最終案を決定
2月 藤沢市議会定例会にて最終案を報告
3月 第5次藤沢市子ども読書活動推進計画策定

以上

（事務担当 生涯学習部 総合市民図書館）